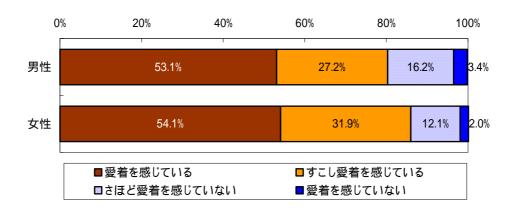
第4章 男女別クロス集計結果

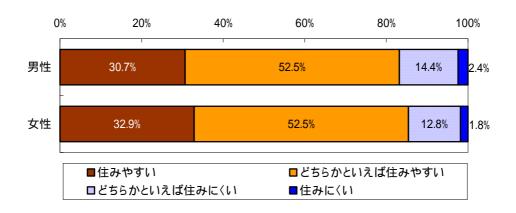
(1)男女別クロス集計 問6「高根沢町に対する愛着」

高根沢町に対する愛着は、男女ほぼ同様の回答であり、男女とも約8割が自らのまちに 愛着があることがうかがえた。



(2)男女別クロス集計 問7「高根沢町の住み心地」

高根沢町に対する住み心地は、男女ほぼ同様の回答であり、男女とも肯定的な回答が約 8割を占めた。

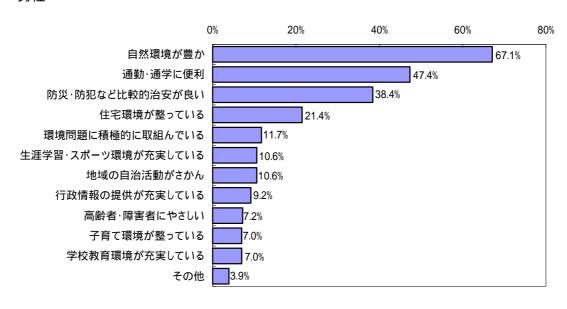


(3)男女別クロス集計 問8「住み心地が良い点」

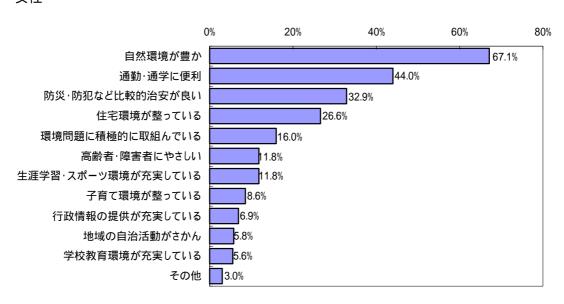
高根沢町に対する住み心地が良い点は、男女ともほぼ同様の回答であった。「男性」は「女性」に比べて「通勤・通学に便利」「防災・防犯など比較的治安が良い」の割合が高かった。

「女性」は「男性」に比べて「住宅環境が整っている」「環境問題に積極的に取組んでいる」の割合が高かった。

男性



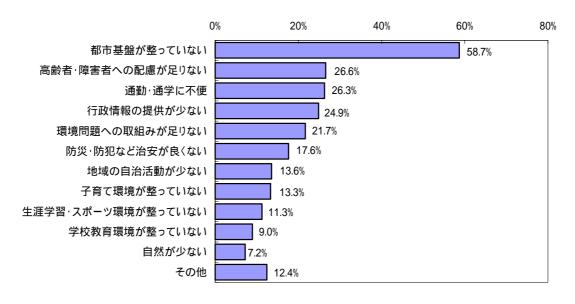
女性



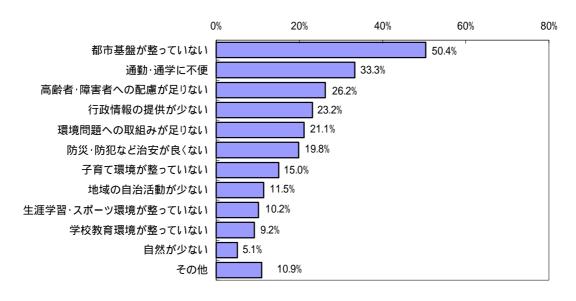
(4)男女別クロス集計 問9「住み心地が悪い点」

「男性」は「女性」に比べて、「都市基盤が整っていない」の割合が高かった。「女性」は「男性」に比べて、「通勤・通学に不便」の割合が高かった。

男性



女性

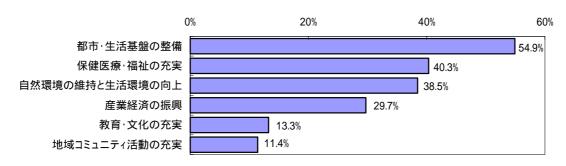


(5)男女別クロス集計 問10「今後優先すべき分野」

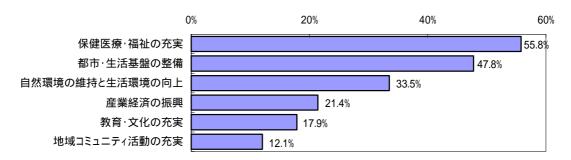
「男性」の今後優先すべき分野は、「都市・生活基盤の整備」が第1位回答であり、次いで「保健医療・福祉の充実」「自然環境の維持と生活環境の向上」であった。

「女性」の今後優先すべき分野は、「保健医療・福祉の充実」が第1位回答であり、次いで「都市・生活基盤の整備」「自然環境の維持と生活環境の向上」であり、差異が見られた。

男性



女性



(6)男女別クロス集計 問11「施策の優先度」

「優先すべきである」と「やや優先すべきである」を合計した「優先」から、「あまり優先しなくてよい」と「優先しなくてよい」を合計した「非優先」を差し引き、これを優先度とみなして回答結果を把握した。6分野の男女別「施策の優先度」は下記の結果となった。

都市・生活基盤の整備(項目1~5)

都市・生活基盤の整備の5項目では、「男性」は「5.汚水処理の充実」「1.計画的な市街地整備」「4.良質な水道水の供給」の順番で優先度が高かった。「女性」は「5.汚水処理の充実」「4.良質な水道水の供給」「1.計画的な市街地整備」の順番で優先度が高く、男女での差異が見られた。また、「4.良質な水道水の供給」の割合は、「女性」は「男性」に比べて大きく上回った。

自然環境の維持と生活環境の向上(項目6~10)

自然環境の維持と生活環境の向上の5項目では、男女とも「10.防犯・交通安全対策の充実」「9.防災機能の向上」「7.リサイクルの推進」の順番で優先度が高く、優先順位は男女同様であった。ただし、「9.防災機能の向上」の割合は、「女性」は「男性」に比べて大きく上回った。

保健医療・福祉の充実(項目11~15)

保健医療・福祉の充実の5項目では、「男性」は「12.高齢者福祉・介護支援の充実」「14.子育て支援策の充実」「13.障害者福祉の充実」の順番で優先度が高かった。「女性」は「12.高齢者福祉・介護支援の充実」「13.障害者福祉の充実」「14.子育て支援策の充実」の順番で優先度が高く、男女での差異が見られた。また、「13.障害者福祉の充実」の割合は、「女性」は「男性」に比べて大きく上回った。

この「保健医療・福祉の充実」分野は、他の分野に比べて、5項目の平均優先度が男女とも最も高かった。

教育・文化の充実(項目16~20)

教育・文化の充実の5項目では、男女とも「17.健全な青少年の育成」「16.学校教育・教育環境の充実」「18.生涯学習の充実」の順番で優先度が高く、優先順位は男女同様であった。男女とも他の項目に比べて「17.健全な青少年の育成」「16.学校教育・教育環境の充実」の優先度が高かった。

産業経済の振興(項目21~25)

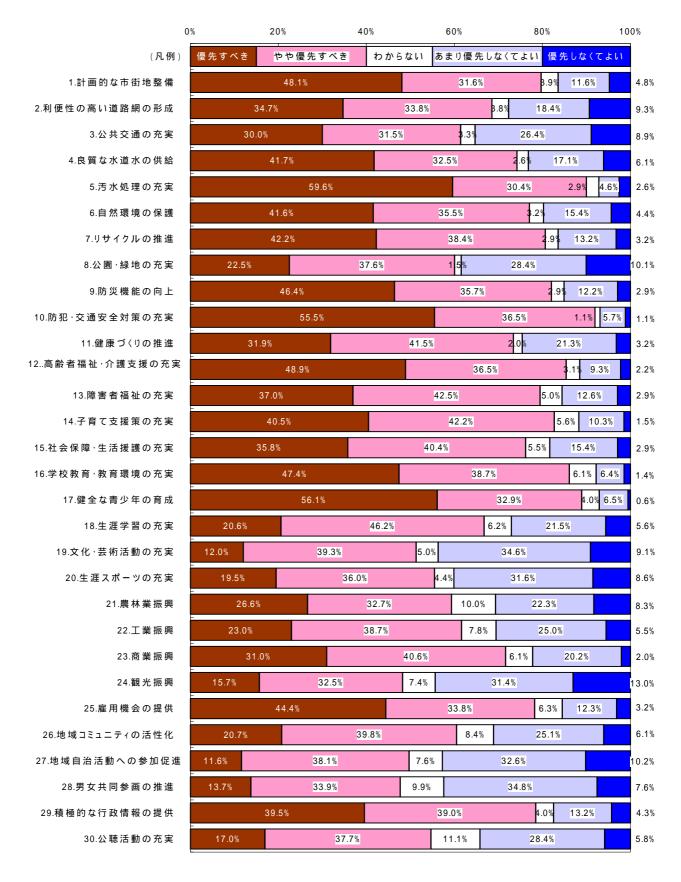
産業経済の振興の5項目では、「男性」は「25.雇用機会の提供」「23.商業振興」「22.工業振興」の順番で優先度が高かった。「女性」は「25.雇用機会の提供」「23.商業振興」「21.農林業振興」の順番で優先度が高く、男女での差異が見られた。

地域コミュニティ活動の充実(項目26~30)

地域コミュニティ活動の充実の5項目では、男女とも「29.積極的な行政情報の提供」「26.地域コミュニティの活性化」「30.公聴活動の充実」の順番で優先度が高く、優先順位は男女同様であった。

この「地域コミュニティ活動の充実」分野は、他の分野に比べて、5項目の平均優先度が男女とも最も低かった。特に「27.地域自治活動への参加促進」「28.男女共同参画の推進」は、他の項目に比べて男女とも優先度が低かった。

男性の「施策の優先度」



女性の「施策の優先度」

